

特集

令和五年
市長と
議長の

新春対談



三条市長
滝沢 亮

三条市議会
議長
阿部 銀次郎

昨年を振り返って

議長

新型コロナウイルス感染症が拡がってから3年が経ちます。感染予防をしながら日常生活をおくる方法がある程度分かってきたことで、感染症により生じたさまざまな影響が改善しつつあります。

市長

感染が拡大し始めた頃は恐るばかりでしたが、ウイルスと上手く共存する方法を学んできました。市の対応も、攻めと守りの両立ができています。

議長

昨年は、市内で災害が発生しなかったことも良かったです。

市長

県内の被災した地域には直ちに職員を派遣しました。発災時に自治体間で助け合う関係ができています。

まちやまオープン

議長

まちやまのオープンのテープカットを見に来られた人の多さは、28年間の政治家人生で数々のテープカットをしてきた中で一番すごかったです。人が集まれる憩いの場がようやくできたとの市民の皆さまの期待を感じました。

市長

来場者の期待のまなざしがすごかったですね。まちやまの入館者数はオープンから5カ月で既に約35万人。嬉しかったのは、これまで室内でゲームばかりしていた小学生がまちやまに遊びに出掛け、本を読むようになり、そこで勉強している中高生を見て、自分も大きく変わったらこのように勉強するとのイメージを抱くようになったと聞いたことです。

また、まちやまの駐車場に県外ナンバーの車が停まっているのによく見掛けます。鍛冶ミュージアムや三条鍛冶道場を通じてまちの

魅力をアピールできていると思っています。

議長

まちやまは開放感があつていいですね。他県の図書館も多々見えました。まちやまの開放感には好評です。



地域医療体制の整備

市長

済生会新潟県央基幹病院は現在建設が進められ、令和5年度中に開院予定です。県の事業ではある

ものの、開院によって地域の医療がどのように変わるのかといった市民の皆さまへの情報発信は、市も担っていかねばと思つていきます。あわせて、病院周辺の道路整備も、救急車が1秒でも早く病院に到着できるように確実に対応していきます。

議長

済生会新潟県央基幹病院の開院に合わせて、三条総合病院が開院します。これまで三条総合病院に通っていた人は少なからず不安を感じられていると思いますので、ぜひ上手く誘導いただきたいです。済生会新潟県央基幹病院の開院により、当地域で救急患者の約4人に1人が圏域外に搬送されている、これまでの課題が大幅に改善されることも期待しています。

議長

済生会新潟県央基幹病院の開院に合わせて、三条総合病院が開院します。これまで三条総合病院に通っていた人は少なからず不安を感じられていると思いますので、ぜひ上手く誘導いただきたいです。済生会新潟県央基幹病院の開院により、当地域で救急患者の約4人に1人が圏域外に搬送されている、これまでの課題が大幅に改善されることも期待しています。

子どもの安全安心

市長

一昨年、千葉県で下校中の小学